



Title	沖縄関係 沖縄返還交渉 -3 (対内) (コミュニケ (田中幹事長、保利官房長官) 外務省外交史料館レファレンス番号 : nd)
Author(s)	-
Citation	令和元年度外交記録公開 公開日 : 2019年12月25日 外務省外交史料館管理番号 : B'5.1.0.J/U24 CD・DVD番号 : nd
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/45931
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

工三三三
(田中幹事長 保利官多長官)

後商部中へ脱す。

共同声明發表に際して官房長官談話(案)

昭四四、一一、二二、三三

四葉七紀に見る全国民の悲願を

の復讐か

九七二年中に概ねおこなう

計総部

中
Teleg?

政府の方針は通り
實現する

お前

三三三
戦後

戦前
戦中
戦後

戦前
戦中
戦後

戦前
戦中
戦後

本三三三
後三三三
右三三三

をうに 日米友好協会の関係の在りては為得る

はよるそのひある

~~と共~~ 神樂

全日本一の紀元 ~~支~~ 支那の地

三の考のいとまにきり一私に

~~て~~ 連小き 本 日本

の心

解 神 統

神 統 出 氏 の 精

神 統 出 氏 の 精

神 統 出 氏 の 精

戦 争 と 表
戦 争 の 結 果
に 在 主 義 的 だ

2

神龍を驚く事には全力を盡す所也

平知雄に

右よりいふ一編を呈す。

本在 有軒洋

神龍の近邊に踏み却る

二ツツ大龍後には如半日死の

鷹足

心から敬意を表すと誓ひ

目黒南口加

系から平正瑞之太 平洋折時

氏の子をわしく 平知雄の

φ

在野の意見は之を行はざらんとす。

外務省

総理・大統領共同声明発表に際する
自民党声明（案）
昭和四四、一一、二一起案

只今ワシントンで発表された佐藤総理大臣・ニクソン米大統領の共同声明は、全日本国民の悲願たる沖縄の祖国復帰が、一九七二年中に

核抜き、本土並みという国民・政府及び自由民主党の一致した基本原

則に従つて実現されることを願つた画期的なものであり、
沖縄百万の

同胞を再び暖かく日本の国の胸に迎え入れることの喜びにひたりなが

ら、われわれは過ぐる大戦での忠勇誠実な沖縄県民の血の犠牲と、そ

れに続く長い年月の日の下に深く思いをいたし、二十四年前焦

土の中で祖国再建を誓つた初心を忘れず、
沖縄再建を遂げ明日の沖

縄造りにまず邁進しなければならぬ。このため
一九七二年まで

復讐の仇めぐる船の政府の抱負が情でうたう

無難の期間と定めて政府を奮勵し、万端漏れなきを期するとともに、

県民の声を十二分に反映する国政参加を一日も早く実現することが、
特にわれわれに与えられた急務である。かくして沖縄がいわゆる「復
帰シヨック」なしに真に本土との一体化を達成して、栄ある祖国復
帰の日を迎えることが、わが党の念願である。

ひるがえつて、世界史上まれにみる領土の平和的返還にふみ切つ
た米国民の美度量に、われわれは心からの拍手を送るものである。

今後沖縄の返還により磐石の基礎に乗った日米関係を軸として陸々
たるわが日本の地位にふさわしい太平洋新時代を迎え、日米両国民
が世界の平和と繁栄のために手を携えて努力しつつ、
地方自治を更に進進して、
両国の関係を
守りては、懸案の経済も含めて友好協力の内閣で解決し、行くこと

を確信して疑わない。

以上今う次日米とる。股合の成果の及ん表に当つて吾人の所信を
~~以上今う次日米とる。股合の成果の及ん表に当つて吾人の所信を~~
國民の公認するに表明するに才である。

次節である。